

下田総合庁舎 定例記者懇談会資料

令和 8 年 9 月 25 日

賀茂地域局

次回の定例記者懇談会
令和 8 年 10 月 23 日（金）
午前 9 時 30 分から
会場：賀茂キャンパス

目 次

◎重要施策発表

静岡県におけるデジタルノマド誘致の取組・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	(賀茂地域局)

◎令和8年10月の行事予定

行事予定表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
---------------------------------------	----

<賀茂キャンパス活用プログラム>

静岡大学東部サテライト「伊豆歴史文化大学」講座 『伊豆の海と災害』オンライン視聴会・・・・・・・・・・・・・・・・	15
	(賀茂地域局)

<賀茂キャンパス活用プログラム>

静岡大学東部サテライト公開講座オンライン視聴会 『フィールド研究から探る、伊豆半島の農業と地域のこれから』・・・・・・・・	17
	(賀茂地域局)

ふじミュー 伊豆サテライトミュージアム 2026 ～第3弾は『昆虫』です！～・・・・・・・・・・・・・・・・	19
	(賀茂地域局)

10月の防災講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	21
	(賀茂地域局)

10月は里親を求める運動を実施する「里親月間」です・・・・・・・・	23
	(賀茂健康福祉センター)

たばこの害について考えよう！ ～こどもから大人へメッセージを伝えます～・・・・・・・・	24
	(賀茂健康福祉センター)

献血併行型骨髄バンクドナー登録会の実施・・・・・・・・	26
	(賀茂健康福祉センター)

賀茂地域青年農業士連絡会出前講座・・・・・・・・	27
	(賀茂農林事務所)

河津小学校わさび授業の開催・・・・・・・・	28
	(賀茂農林事務所)

くくりわな技術向上講習会の開催について・・・・・・・・	30
	(賀茂農林事務所)

定例記者懇談会構成員名簿

	役職名	氏 名
1	賀茂地域局長	あおき かつひろ 青木 克裕
2	賀茂地域局副局長兼賀茂危機管理監	まつおか ひろのり 松岡 宏典
3	東部地域局伊豆観光局長	さきの つとむ 笹野 努（欠席）
4	下田財務事務所長	たけだ としき 竹田 敏己
5	賀茂健康福祉センター所長	わたなべ しん 渡辺 心
6	賀茂健康福祉センター医監兼賀茂保健所長	ほんま よしゆき 本間 善之
7	賀茂農林事務所長	じょうけ まこと 上家 信
8	農林技術研究所伊豆農業研究センター長	ば ば ふ じ お 馬場 富二夫
9	水産・海洋技術研究所伊豆分場長	まつやま はじめ 松山 創
10	下田土木事務所長	おおすみ やすし 大隅 泰史
11	賀茂広域消費生活センター所長	まつひさ まゆみ 松久 真弓
12	賀茂出納室長	まつなが とし の 松永 俊乃
13	賀茂地域教育振興センター参事	み むろ なお こ 三室 直子
14	賀茂地域局次長兼地域課長	いいだ まさゆき 飯田 雅之（欠席）
15	賀茂地域局参事兼危機管理課長	はかまだ こう じ 袴田 晃司

賀茂地域定例記者懇談会 座席表
(下田総合庁舎別館 2階 賀茂キャンパス)

柱

スクリーン

賀茂地域局長

O

U
R

賀茂地域
教育振興
センター参事

賀茂出納室長

専門官兼
賀茂広域消費生活
センター長

下田土木事務所長

水産・海洋技術研究所
伊豆分場長

伊豆農業研究センター長

プロジェクト

賀茂農林事務所長

賀茂保健所長

賀茂健康福祉
センター長

下田財務事務所長

賀茂危機管理監
兼 局長 副

兼事參
危機管理課長

出口

鹿者記

静岡県におけるデジタルノマド誘致の取組

令和8年9月25日
静岡県賀茂地域局

賀茂地域局局長の青木でございます。

本日は静岡県におけるデジタルノマド誘致の取組について説明いたします。

【本日の内容】

○ デジタルノマドとは

- ・ デジタルノマドとは
- ・ 下田市のデジタルノマド誘致事業の経過

○ 静岡県における取組紹介

本日の内容は、デジタルノマドの概要について説明したのち、
下田市におけるデジタルノマド誘致事業の経過を紹介し、
最後に本県におけるデジタルノマドの誘致・受入の取組について紹介します。

空港にいるインバウンドの10%はノマド!?

市場と属性

平均年収

1,240万円

滞在中の生活費

20~30万円/月

市場規模

3,500~
4,000万人

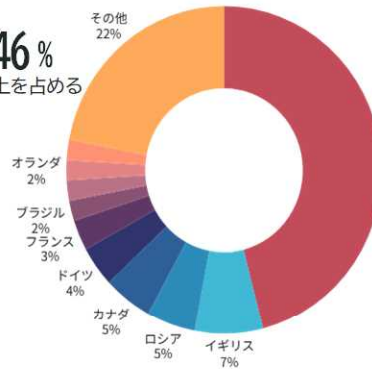
年間支出額

120兆円

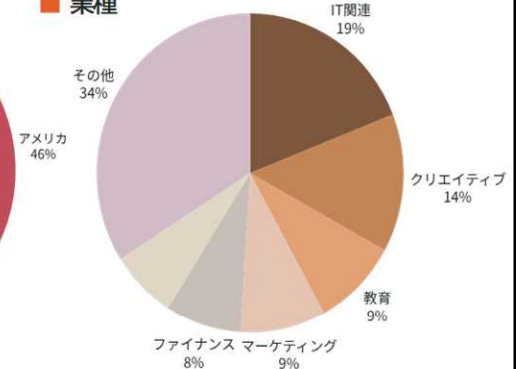
国籍

アメリカ 46%

欧米豪が75%以上を占める



業種



出典：WYSE TRAVEL CONFEDERATIONの調査、株式会社遊行、TADAIMA SHIMODA

言語・文化の境界を越え、グローバル関係人口創出の時代へ

インバウンド観光誘致とデジタルノマド誘致の違い

	観光	デジタルノマド誘致
滞在日数	1.3日	21日
来訪者の位置づけ	ゲスト	当事者候補
地域との関係	サービス提供	再訪・共創につながる関係設計

デジタルノマドは都心に限らず長期滞在を好み、収入が安定していて高度人材として各国の経済・社会にもたらす効果が大きいとされている

地域にもたらすインパクト

産業振興

- ・地域企業・スタートアップとの接点/共創
- ・海外展開のきっかけ

観光振興

- ・長期滞在による経済効果
- ・ファン化/魅力の再発見

国際教育・多文化共生

- ・学校・地域住民との交流
- ・英語環境
- ・多様な価値観との接点

ELENTO合同会社資料提供

まず、デジタルノマドの概要ですが、デジタルノマドとは、インターネットを活用して、特定のオフィスに縛られず自由に働く人々のことです。世界で約3,500万人から4,000万人が存在するとされ、年間の支出額は世界全体で約120兆円に達すると推計されています。

国籍の割合は、アメリカが46%と最も多く、欧米を中心に様々な国から参画しています。活躍されている業種としては、IT関連が19%と多く、クリエイティブ系、ファイナンスやマーケティングなど多様な職種で働いていることがわかります。言語や文化の壁を越えて、多様な地域の人々が関わることで新たな「グローバル関係人口」が生まれています。

さて、一般的なインバウンドの観光誘致とデジタルノマドの誘致には違いがあります。まず、滞在期間。観光客は基本的に短期間の滞在が多い一方で、デジタルノマドは仕事をしながら滞在するため、中長期滞在が多くなります。

次に、訪れる人の立場や地域との関わり方が異なります。観光客は地域に「ゲスト」として訪れ、サービスを受ける形が主流です。対してデジタルノマドは「当事者候補」とされ、地域の一員として関わり、共に地域の活性化やコミュニティづくりに参加する可能性があります。

デジタルノマドが地域にもたらす変化



産業振興

- ・ 地域企業/スタートアップ×ノマドのマッチング
- 例：ワークショップ、共創プロジェクト等
⇒ 海外進出支援、リスクリング機会の創出



観光振興

- ・ プログラム、地域イベントへの参加
 - ・ 自然、アクティビティ体験
- ⇒ インバウンド視点での魅力再発見、質の良い情報発信の増加
長期滞在による経済効果



国際教育・多文化共生

- ・ 地域の学校との連携
 - ・ 在住外国人コミュニティとの交流
- ⇒ 地域住民への「英語を話す機会」「多様な働き方・生き方にふれる機会」の創出、地域コミュニティ・外国人コミュニティの橋渡し役

ELENTO合同会社資料提供

続いて、デジタルノマドが地域にもたらす変化について説明します。

まず「産業振興」の面では、デジタルノマドの長期滞在により地域企業やスタートアップ、また地域の交流拠点やワークショップなどの場の活性化が期待されます。遠隔地からの人材交流や海外進出の支援、リスクリングの促進など、地域の経済基盤の強化につながることも期待されています。

次に「観光振興」では、プログラムや地域イベントへの参加を通じて、自然体験やアクティビティを楽しむことで、日本人の観光だけでは捉えきれない地域の魅力発信への貢献も期待されます。こうした参加型の滞在は、長期滞在による経済効果の持続にもつながります。

さらに「国際教育・多文化共生」の面では、学校や自治体などと協力することを通して、在住外国人コミュニティとの交流や地域内の多文化共生の促進も期待されます。教育の面でも国際的な視野が育まれます。

このように、デジタルノマドは地域の経済だけでなく、観光や文化、教育の面でも多様なプラスの変化をもたらす存在になると考えています。

下田市のデジタルノマド誘致事業の経過

国内向けの関係人口施策からグローバル関係人口施策へ

2019

下田市がデジタルノマドやリモートワーカーの受け入れ環境を整備。

市がワーケーション推進を開始

2024

ELENT0がデジタルノマド誘致事業(市委託)として「TADAIMA SHIMODA」を実施。

デジタルノマド誘致(グローバル関係人口創出)に拡大

2025

ELENT0が11月に「TADAIMA 2025」を実施。

民間で自走開始

2026

8月、インドネシア出身のハレン・タンビ氏が下田市の地域おこし協力隊「デジタルノマド誘致コーディネーター」に着任。11月に「TADAIMA 2026」を実施予定。

官民連携施策へ

ワーケーション施策→デジタルノマド施策
→民間での自走→官民連携施策へ

ELENT0合同会社資料提供

このスライドは、下田市におけるデジタルノマド誘致事業の経過を示しています。

平成31年から令和元年に変わった2019年には、市がリモートワーカーやデジタルノマドの受け入れ環境を整備し、ワーケーション推進を開始しました。これは国内向けの関係人口施策として始まったものです。

2024年、令和6年には、ELENT0合同会社が市から委託を受けてデジタルノマド誘致モデル事業を実施し、「TADAIMA SHIMODA」の看板を掲げて、デジタルノマド誘致をグローバルな関係人口創出へと拡大しました。同年4月には、長期滞在を可能にするデジタルノマドビザ(リモートワークビザ)が日本でも導入され、これにより海外からのデジタルノマドの訪問や滞在がさらに促進されています。

2025年11月にも「TADAIMA 2025」プロジェクトが実施されました。

令和8年、2026年8月には、インドネシア出身のハレン・タンビ氏が、地域おこし協力隊「デジタルノマド誘客コーディネーター」として地域に定着し、この11月に「TADAIMA 2026」を実施予定です。これにより、官民連携の施策へと進化し、地域活性化の取り組みがより強化されています。

静岡県における取組紹介

それでは次に、静岡県におけるデジタルノマド誘致の取り組みについて紹介します。

昨年度の取組紹介

デジタルノマド誘致

(1)コミュニティマネージャー育成講座

(受託者：E L E N T O 合同会社)

- ・地域とデジタルノマドとの架け橋を担うコミュニティマネージャー(CM)の育成、ネットワーク化の促進を実施。

期間：10月27日～1月15日(全5回)(受講者:14名)

10/20 説明会 : ノマドに関する知識、プログラムについて

10/27 DAY① : ノマド受入地域の事例、CMの役割・必要性を共有

11/6 DAY② : 韓国、インドネシアのCMを迎え、コミュニティやイベント運営に関する重要点を共有

11/27 DAY③ : 持続可能なコミュニティ構築、維持方法の共有

12/15 DAY④ : ミニプログラム(イベント等)の企画、プレ発表

1/15 DAY⑤ : 受講者による行動宣言(報告・発表会)



(育成講座のようす)



(海外CMによる講義)

昨年度に実施されたデジタルノマド誘致に向けた具体的な取り組みとして、「コミュニティマネージャー育成講座」について紹介します。

この講座は、地域とデジタルノマドを結びつける役割を担うコミュニティマネージャー(CM)を育成し、地域内のネットワークづくりを促進することを目的としました。実施期間は、約3か月半にわたり、受講者は14名でした。

講座の内容は段階的に構成されており、初日にデジタルノマドに関する基本知識やプログラムの概要を説明しました。その後、ノマド受入地域の事例紹介や、韓国・インドネシアのコミュニティマネージャーを招いた講義を通じて、コミュニティづくりやイベント運営における重要なポイントを共有しました。

さらに、持続可能なコミュニティ運営や維持方法の共有、地域でのミニプログラム企画やプレゼン発表を行い、最終日に受講者が、それぞれ行動宣言を発表しました。

昨年度の取組紹介

(2) デジタルノマド受入プログラム

・CM育成講座受講者がデジタルノマド受入プログラムを企画・実施。

日 時	3月7、8日(土・日)
場 所	松崎・西伊豆エリア
参加者	受講者: 6名 デジタルノマド: 10名



(西伊豆の海を楽しむようす)



(鰹節体験プログラムのようす)

前述のコミュニティマネージャー育成講座の受講者が、デジタルノマドの受け入れ環境づくりの一環として、デジタルノマド受入プログラムを企画・実施しました。

こちらは、令和8年3月7日・8日の週末、松崎・西伊豆エリアで行われました。参加者は受講者6名とデジタルノマド10名の計16名で、地域資源を活かした体験プログラムを通じて、地域の魅力を深く理解しながら交流を図りました。

写真は、西伊豆の海を楽しむ様子や、地元の鰹節作りの体験プログラムの様子で、参加者は地域とのつながりを感じながら充実した時間を過ごしました。

このような実践的な受入プログラムを通じて、地域とデジタルノマドの関係構築を進めるとともに、受講者のコミュニティマネージャーとしての資質向上をねらったものです。

デジタルノマド誘致・受入体制の広域展開イメージ

●：コミュニティマネージャー ●：地域プレイヤー

賀茂地域への広域展開

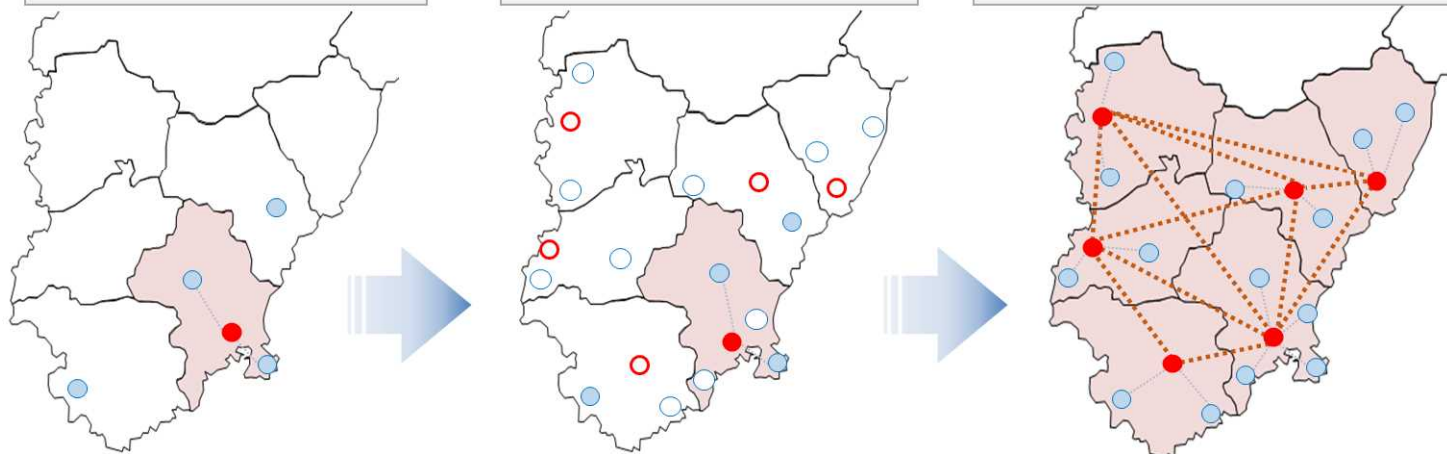
<理解・気運の醸成>

<体制の構築>

- ・他市町への横展開が必要
- ・市町職員、住民の理解が必要
- ・地域プレイヤーの不足

- ・地域の理解、気運が高まる
- ・地域プレイヤーの掘り起こし

- ・各市町にコミュニティマネージャーを設置
- ・コミュニティマネージャー同士のネットワーク形成



R7 説明会の開催

R7 コミュニティマネージャーの育成

R8 シンポジウムの開催

[Point]

- ・市町、住民を巻き込む（地域理解）
- ・デジタルノマドによるメリットを共有する

[Point]

- ・コミュニティマネージャーを増やす（地域おこし協力隊等の活用）
- ・イベント等を通じたコミュニティマネージャー同士の交流や育成を支援する

この資料は、デジタルノマド誘致および受入体制の地域内への広域展開のイメージを示しています。

市町間の横断的な連携の必要性、市町職員および住民の理解促進、地域プレイヤーの不足といった課題に対して、まず説明会を開催し、関係者の理解と気運の醸成に取り組み、地域内の理解を深め、気運を高めることで、地域プレイヤーの掘り起こしを行い、そこから、コミュニティマネージャーの育成を行うことで、彼らを中心に地域での活動が活発化させることに取り組みました。

右側の図は、将来的な広域な体制構築の段階を示しており、地域内の市町にコミュニティマネージャーがおり、ネットワークを形成し、地域間の連携や協力体制を強化することを目指しています。地域全体でデジタルノマド受入環境を向上させていくことを考えています。

市町や住民を巻き込んだ地域理解の促進とデジタルノマドに関する情報共有、そしてコミュニティマネージャーを起点とした地域活動の活性化やイベント連携を通じて体制の強化を進めていくことがポイントとなります。

このように段階的・組織的に取り組むことで、デジタルノマド誘致の広域展開を目指しています。

今年度の取組紹介

(1) デジタルノマド受入体制構築・強化

地域おこし協力隊交流会開催（9/25（金））

- ・グローバル関係人口創出に係る講演を実施し、デジタルノマドや県の取組を周知する。

⇒人脈形成やキャリアの方向性、事業展開のヒントを得る機会を提供



（令和7年度地域おこし協力隊交流会のようす）



講師：塚田 絵玲奈
ELENTO合同会社 代表

外資系PR 大手エデルマンを経て、
2020年にELENTO創業

PR / Branding / Storytelling

TADAIMA SHIMODA・Nomad Experience
運営

（一社）日本デジタルノマド協会 理事

今年度の賀茂地域局としての取組について、紹介します。

まず、デジタルノマド受入体制構築・強化についてです。

賀茂地域局では、地域おこし協力隊交流会を通じて、地域おこし協力隊の地域への定着を図る取り組みを行っています。

今回、地域おこし協力隊交流会を9/25（金）14時30分から賀茂キャンパスにおいて開催します。グローバル関係人口創出に係る講演を通じて、地域おこし協力隊に対して、デジタルノマドや県の取組を周知し、人脈形成やキャリアの方向性、事業展開のヒントを得る機会を提供したいと考えております。

講師はTADAIMA SHIMODAやデジタルノマド向けの体験プログラムNomad Experience（ノマド・エクスペリエンス）を運営するELENTO合同会社 代表 塚田 絵玲奈氏にお願いしています。

今年度の取組紹介

(2) デジタルノマドシンポジウム

	内容
タイトル	Digital Nomad Symposium in Shizuoka
日 程	11月6日（金）13：00～17：00
場 所	ホテル伊豆急（下田市白浜）
参加人数 （想定）	100人程度 （観光業者、交通事業者、金融機関、行政関係者、地域事業者 等）
内 容	第1部 パネルディスカッション テーマ：世界の動き、日本の現状・先行事例 等（調整中） 第2部 交流会



（パネルディスカッション会場）



（交流会会場）

最後に今年度実施予定の「デジタルノマドシンポジウム」について紹介します。

シンポジウムは11月6日（金）13時から17時まで、下田市白浜のホテル伊豆急での開催を予定しております。観光業や交通業、金融機関、行政関係者、地域事業者など多様な関係者、約100名の参加者を想定しております。

内容は大きく2部構成で、第1部では「世界の動き、日本の現状、先行事例」などをテーマにパネルディスカッション。詳細な内容は調整中ですが、多様な視点からデジタルノマドの現状と将来を議論する予定です。

第2部は参加者同士の交流会とし、意見交換の場としたいと考えております。

このシンポジウムを通じて、地域の関係者が一堂に会し、デジタルノマド誘致の課題や展望を共有するとともに、新たな連携や協力関係の構築が期待されます。

当日には、ぜひ取材をお願いしたいと思います。



御清聴ありがとうございました。

行事予定表（令和8年10月分）

日	曜日	賀茂地域局	下田財務事務所	賀茂健康福祉センター	賀茂農林事務所	下田土木事務所
1	木	防災講座（稲生沢学校） 13:20-14:05 稲生沢小学校				
2	金					
3	土					
4	日					
5	月	静岡大学公開講座オンライン視聴会 18:00～20:00 賀茂キャンパス				
6	火					
7	水					
8	木	①防災講座（下田中学校） 10:25-12:15 下田中学校 ②防災講座（松崎小学校） 13:25-14:10 松崎小学校		①こどもから大人へのメッセージ事業（南伊豆町南中小学校） 13:20～14:05 ②献血併行型骨髄バンクドナー登録会の実施 13:30～15:30		
9	金					
10	土					
11	日					
12	月					
13	火	防災講座（河津小学校） 13:25-15:05 河津小学校			河津小学校わさび田見学 9:30～ 河津町内	
14	水				青年農業士連絡会出前講座 13:35～下田高校南伊豆分校	
15	木	①防災講座（伊豆の国特別支援学校伊豆下田分校） 10:40-11:45 伊豆下田分校 ②防災講座（下田小学校） 13:20-14:35 下田小学校				
16	金	防災講座（松崎小学校） 9:30-11:30 賀茂危機管理庁舎				
17	土	昆虫調査隊in下田（ふじみュー） 10:00～16:00 賀茂危機管理庁舎				
18	日	講座「伊豆にすむ蝶たち」（ふじみュー） 14:00～15:30 賀茂キャンパス				
19	月					
20	火					
21	水	防災講座（湘南医療大学付属下田看護専門学校） 10:40-12:10 下田看護専門学校			くくりわな講習会 9:30～ 河津町内	
22	木	防災講座（南伊豆認定こども園） 10:00-11:00 南伊豆認定こども園				
23	金	定例記者懇談会 9:30～ 賀茂キャンパス				
24	土					
25	日					
26	月					
27	火	静岡大学公開講座オンライン視聴会 18:00～20:00 賀茂キャンパス				
28	水					
29	木					
30	金	防災講座（南伊豆認定こども園） 10:00-11:00 南伊豆認定こども園				
31	土					

行事予定表（令和8年10月分）

日	曜日	農林技術研究所 伊豆農業研究センター	水産・海洋技術研究所 伊豆分場	賀茂広域 消費生活センター	賀茂地域 教育振興センター	伊豆観光局
1	木					
2	金					
3	土					
4	日					
5	月					
6	火					
7	水					
8	木					
9	金					
10	土					
11	日					
12	月					
13	火					
14	水					
15	木					
16	金					
17	土					
18	日					
19	月					
20	火					
21	水					
22	木					
23	金					
24	土					
25	日					
26	月					
27	火					
28	水					
29	木					
30	金					
31	土					

令和8年9月25日

定例記者懇談会資料

＜賀茂キャンパス活用プログラム＞

静岡大学東部サテライト「伊豆歴史文化大学」講座
『伊豆の海と災害』オンライン視聴会

(賀茂地域局)

(要旨)

静岡大学が主催する「伊豆歴史文化大学」講座が「伊豆の海と災害」をテーマに行われます。同大学の協力により、10月5日(月)にオンライン視聴会を開催します。

(概要)

日 時	令和8年10月5日(月) 18:00～20:00 (途中入退出可能)
会 場	静岡県下田総合庁舎別館2階 賀茂キャンパス ※別館1階玄関からお入りください。
内 容	演題・講師 ○「ディアナ号の津波被災とその後の軌跡」 小山 真人 氏 (静岡大学防災総合センター) ○「伊豆の造船と海難事故の歴史」 金子 浩之 氏 (立正大学文学部) ※講演会場(静岡大学東部サテライト)とオンラインで結び、大型スクリーンにより視聴する。
対 象	県民など
参加費	無料
申 込	二次元コード：  電 話：0558-24-2202 メール：kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp (氏名、職業、電話番号、参加人数の記入をお願いします。) いずれかの方法でお申込みください。
共 催	静岡大学未来社会デザイン機構東部サテライト 賀茂キャンパス活用推進委員会(静岡大学、静岡県賀茂地域局ほか)

担 当：地域課 菅尾
電話番号：0558-24-2202

伊豆歴史文化大学 オンライン視聴会



静岡大学東部サテライト（伊豆市）で実施する講座を賀茂
キャンパスの大型スクリーンでオンライン（Zoom）視聴します。
※ご自宅でオンライン視聴するものではありません。



伊豆半島とその周辺は、さまざまな自然災害が頻
発する一方で、自然現象がもたらした地形・景
観・産物が、そこに暮らす人々に大きな恵みを与
えてきました。本講座は、伊豆半島の自然の恵み
と災害の歴史を振り返るとともに、それらが地域
の社会基盤や文化形成に与えた影響を最新の研
究成果にもとづいて、伊豆独自の自然・歴史・文
化の価値の再認識を試みます。

テーマ：伊豆の海と災害

テーマ・講師

- ▶ 「ディアナ号の津波被災とその後の軌跡」
小山 真人氏（静岡大学防災総合センター）
- ▶ 「伊豆の造船と海難事故の歴史」
金子 浩之氏（立正大学文学部）

申込方法

参加を希望される方は、二次元コード・電話・
メールいずれかの方法で
申し込みください

申し込みフォーム

☎0558-24-2202

✉ kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp



日時

2026.10.5月
18:00～20:00

場所

賀茂キャンパス
（下田総合庁舎別館2階）
下田市中531-1

参加費

無料

問い合わせ先

静岡県賀茂地域局地域課
☎0558-24-2202

令和8年9月25日

定例記者懇談会資料

<賀茂キャンパス活用プログラム>

静岡大学東部サテライト公開講座オンライン視聴会

『フィールド研究から探る、伊豆半島の農業と地域のこれから』

(賀茂地域局)

(要旨)

静岡大学が主催する講座「多彩な視点から学ぶ伊豆半島の自然と社会」が「フィールド研究から探る、伊豆半島の農業と地域のこれから」をテーマに行われます。同大学の協力により、10月27日(火)にオンライン視聴会を開催します。

(概要)

日 時	令和8年10月27日(火) 18:00~20:00 (途中入退出可能)		
会 場	静岡県下田総合庁舎別館2階 賀茂キャンパス ※別館1階玄関からお入りください。		
内 容	演題・講師 「フィールド研究から探る、伊豆半島の農業と地域のこれから」		
	時間	内容	方法等
	18:00~ 19:30	講義(オンライン) 「フィールド研究から探る、伊豆半島の農業と地域のこれから」 松本 和浩 氏(静岡大学農学部 教授) 中込 光穂 氏(静岡大学大学院生) 岡 愛香梨 氏(静岡大学大学院生)	※講演会場とオンラインで結び、大型スクリーンにより視聴
	19:30~ 20:00	講義に関する感想・意見交換 (進行まとめ 静岡大学 辻本侑生講師)	※賀茂キャンパスでの受講者による感想・意見交換
対 象	県民など		
参加費	無料		
申 込	二次元コード：  電 話：0558-24-2202 メール：kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp (氏名、職業、電話番号、参加人数の記入をお願いします。) いずれかの方法でお申込みください。		
共 催	静岡大学未来社会デザイン機構東部サテライト 賀茂キャンパス活用推進委員会(静岡大学、静岡県賀茂地域局ほか)		

担 当：地域課 菅尾
電話番号：0558-24-2202

多彩な視点から学ぶ 伊豆半島の自然と社会

静岡大学東部サテライト(伊豆市)で実施する
講義を賀茂キャンパスで視聴します。



※ご自宅でオンライン視聴するものではありません。

日時

10/27(火)

18:00-19:30 講義オンライン視聴会
19:30-20:00 意見交換会

受講料

無料

場所

賀茂キャンパス（静岡県下田総合庁舎別館2階）下田市中531-1

テーマ

フィールド研究から探る、 伊豆半島の農業と地域のこれから

温暖な伊豆地域での園芸作物(熱帯果樹・在来植物)の栽培・ブランディングに挑戦してきた研究室の知見をもとに、過疎化が進む地域での農を生かした居場所づくりの実践事例を紹介。フィールド研究から見えてきた、これからの伊豆の農業と地域活性化の可能性を一緒に考えます。

静岡大学農学部 教授

松本 和浩 氏



静岡大学大学院生

中込 光穂 氏
岡 愛香梨 氏



静岡大学地域創造教育センター
講師（ファシリテーター）

辻本 侑生 氏

賀茂キャンパスに来ます。
一緒に意見交換しませんか？

申込方法

参加を希望される方はいずれかの方法で
お申し込みください。

二次元コード



電話（静岡県賀茂地域局地域課）

☎ 0558-24-2202

メール

✉ kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp

ふじミュー 伊豆サテライトミュージアム2026～第3弾は『昆虫』です！～ (ふじのくに地球環境史ミュージアム・賀茂地域局)

ふじのくに地球環境史ミュージアム（静岡市駿河区）は、2016年に開館した全国初の地球環境史をテーマとした県立の自然系博物館です。

普段、当館に来館することができない方にも当館のイベントを楽しんでもらえるよう、令和7年度から下田市で出張展示やイベントを行っています。

今年度も地域の自然・環境について理解を深めるためのイベントや講座を実施します。

第3弾では、当館の研究員が講師を務める、昆虫をテーマにしたイベントを行います。

※参加者募集の周知及び当日の取材をよろしくお願いいたします。

1 イベント

イベント名	昆虫調査隊 in 下田
内 容	ふじミューの昆虫博士と一緒に昆虫を捕まえて標本を作ります。 講師：ふじのくに地球環境史ミュージアム研究員 岸本年郎
開催日時	令和8年10月17日（土） 10：00～16：00
集合場所	静岡県賀茂危機管理庁舎1階（下田市敷根 765-15）
参加費	無料
定 員	先着 15 名（小学生以上）
申込方法	※定員に達したため、受付を締め切りました。

2 講座

イベント名	伊豆にすむ蝶たち
内 容	自然環境の変遷とともに、そこにすむ蝶の顔触れも変わってきました。絶滅した蝶、近年分布を拡大をしている蝶など、伊豆の特徴的な蝶類について紹介します。 講師：ふじのくに地球環境史ミュージアム研究員 岸本年郎
開催日時	令和8年10月18日（日） 14：00～15：30
会 場	静岡県下田総合庁舎別館2階 賀茂キャンパス（下田市中 531-1）
参加費	無料
定 員	100 名（どなたでも参加可）
申込方法	電子申請システムでお申し込みください。 申込期間：令和8年8月31日（月）から10月15日（木） <u>※お席に空きがあれば、当日参加も可能です。</u>



3 問合せ先

ふじのくに地球環境史ミュージアム企画総務課
住 所 静岡市駿河区大谷5762
電話番号 054-260-7111



ふじのくに
地球環境史
ミュージアム
Museum of Natural and
Environmental History, Shizuoka

2026

第3弾

参加費
無料!伊豆サテライト
ミュージアム

テーマ

こんちゅう

昆虫

ふじミューの昆虫博士と一緒に
伊豆にすむ昆虫を楽しく学ぼう!

講師 岸本年郎 (ミュージアム研究員、昆虫博士)



イベント 昆虫調査隊 in 下田

※雨天中止

定員15名
(要予約・先着)

当館で大人気のイベントを下田で開催!

敷根公園で昆虫をつかまえて、標本を作ります。どんな虫がすんでいるか、
みんなで楽しく調べよう! ※作った標本はミュージアムで大切に保管します。

日程 10月17日(土) 10:00～16:00 休憩: 12:30～13:30

集合場所 静岡県賀茂危機管理庁舎1階
下田市敷根765-15

対象 小学生以上 ※未就学児の同伴はご遠慮ください

注意 服装・持ち物をホームページでご確認ください



講座 伊豆にすむ蝶たち

定員100名
(予約優先)伊豆地域からは90種以上の蝶の記録があります。開発や気候変動などの自然
環境の変遷とともに、そこにすむ蝶の顔触れも変わってきました。絶滅した蝶、
近年分布を拡大している蝶など、伊豆の特徴的な蝶類について紹介します。

日程 10月18日(日) 14:00～15:30

開催場所 賀茂キャンパス (静岡県下田総合庁舎別館2階)
下田市中531-1▲絶滅したオオウラギンヒョウモン
(伊豆市大室山産標本)

申込方法 当館HPまたは右の二次元コードよりお申込みください

申込期間

8月31日(月)～10月15日(木)

※先着順のため定員に達し次第、締め切ります
※講座は空きがあれば当日参加も可能です

主催

ふじのくに地球環境史ミュージアム
Museum of Natural and Environmental History, Shizuoka

☎ 054-260-7111

✉ info@fujimu100.jp

共催

下田市教育委員会、静岡県賀茂地域局

10月の防災講座

(賀茂地域局)

(概要)

賀茂地域局では、地域防災力を強化するため、自主防災組織、教育機関等と連携し、防災講座を開催する。

(開催スケジュール)

	実施日時	実施場所	実施対象	内容等
①	10月1日(木) 13:20～14:05	稲生沢小学校 (下田市)	5年生 約20人	土砂災害に関する講座
②	10月8日(木) 10:25～12:15	下田中学校 (下田市)	1年生 約130人	災害図上訓練(DIG)
③	10月8日(木) 13:25～14:10	松崎小学校 (松崎町)	4年生 約30人	災害図上訓練(DIG)
④	10月13日(火) 13:25～15:05	河津小学校 (河津町)	4年生 約30人	未定
⑤	10月15日(木) 10:40～11:45	伊豆の国 特別支援学校 伊豆下田分校 (下田市)	全校 児童・生徒 約10人	防災講話 地震体験(車)
⑥	10月15日(木) 13:20～14:35	下田小学校 (下田市)	4年生 約20人	まち歩き防災学習
⑦	10月16日(金) 9:30～11:30	賀茂危機管理庁舎 (下田市)	4年生 約30人	松崎小学校4年生の 庁舎見学
⑧	10月21日(水) 10:40～12:10	湘南医療大学付属 下田看護専門学校 (下田市)	1、2年生 約20人	防災講話 地震体験(車)

	実施日時	実施場所	実施対象	内容等
⑨	10月22日（木） 10:00～11:00	南伊豆 認定こども園 （南伊豆町）	3歳児 約30人	防災ダック 地震体験（車）
⑩	10月30日（金） 10:00～11:00	南伊豆 認定こども園 （南伊豆町）	4歳児 約20人	防災ダック 地震体験（車）

（講座内容の紹介）

「まち歩き防災学習」とは

児童・生徒と一緒に地域を歩き、ハザードマップなどに記されている避難場所や避難ビルといった設備を実際に確認します。現地を歩くことで、避難にかかる時間や避難行動中の注意点について考え、安全な避難ができるよう支援します。また、学習したことをまとめることで地域防災について考えるきっかけをつくります。

今回は、下田小学校4年生と一緒に下田小学校周辺を歩いて学習します。

（お願い）

- ・ 講座の取材を行う場合は、各学校まで取材を行う旨をご連絡ください。
- ・ 講座の内容については、変更になる場合があります。
- ・ 講座の内容に関するお問合せは下記担当までお願いいたします。

担 当：危機管理課 山田

連絡先：0558-24-2004

10月は里親を求める運動を実施する「里親月間」です

(賀茂健康福祉センター)

1 概要

10月は「里親月間」です。全国で里親を求める運動を重点的に行います。賀茂健康福祉センターでは、より多くの方に里親制度を知っていただき、社会全体で里親を支援する気運を高めるため、次のキャンペーンを実施します。

キャンペーン 「もっと知って里親のこと！」

- 期間 令和8年10月1日(木)～10月30日(金)
- 会場 静岡県下田総合庁舎1階エントランスホール
- 内容 里親関連ポスターの掲示・啓発品の配布

2 里親について

(1) 里親とは

私たちの身近には、経済的困窮、虐待、親の行方不明等様々な事情で家族と一緒に暮らせない子どもたちがいます。

そのような子どもたちを自分の家族の一員として家庭に迎え入れ、温かい愛情と正しい理解を持って養育する人のことを「里親」と言います。

(2) 里親に求められる役割

家族と離れて暮らす子どもたちの中には、大人との信頼関係が築けず、様々な問題を引き起こす子もいます。((例)・他人の顔色を伺う・大人からの叱責を恐れて嘘でごまかしたりする・感情のコントロールが苦手 等)

里親による養育には、このような子どもたちの気持ちに寄り添い、子どもたちの生活や養育者のモデルとなること、関係機関(学校や児童相談所等)と連携していくことが必要です。

(3) 里親として養育する期間

養育期間は、必要に応じ数日から十数年までと様々です。((例)・週末や長期休み(ショート・ルフラン)・緊急一時保護・子どもの自立や家庭復帰まで 等)

(4) 里親の現状(令和7年度)

	静岡県全体 ※1	うち 賀茂地域
認定里親数	384 組	9 組
委託中の里親数	77 組	3 組
里親委託児童数	90 人	5 人

※1：静岡市・浜松市を除く。

3 里親希望・問合せ先

各市町福祉窓口・児童家庭支援センター・児童相談所

担 当：相談課 宮武
連絡先：0558-24-2038

令和8年9月25日

定例記者懇談会資料

たばこの害について考えよう！

～こどもから大人へメッセージを伝えます～

(賀茂健康福祉センター)

(目的)

南伊豆町南中小学校で受動喫煙防止教育を実施します。

こどもたちがたばこの害について考え、周囲の大人に対しメッセージを送り、メッセージを受け取った大人が自身の行動を振り返り、メッセージを返すことで、家族や地域全体の「受動喫煙防止」の意識向上を図ります。

(概要)

日 時	令和8年10月8日(木) 13:20～14:05
会 場	南伊豆町南中小学校
対 象	小学3年生 10人
内 容	・パペット人形劇の掛け合いによる講義 ・グループワーク「受動喫煙の害から身を守る方法を考える」 ・メッセージ作成 当日「こどもから大人へ」 授業の感想をもとに、身近な大人にメッセージを書く。 後日「大人からこどもへ」 こどもからもらったメッセージに対し返事を書く。
従事者	賀茂健康福祉センター健康増進課職員 南伊豆町役場健康増進課職員

(その他)

当日、取材に来られる場合は、前日までに下記担当までご連絡ください。

担 当：健康増進課
連絡先：0558-24-2036

こどもから大人へのメッセージ事業

静岡県では、小学3、4年生に対して、受動喫煙防止教育を行い、その授業を受けた子どもが家庭や教師などの大人にメッセージを贈る「こどもから大人へのメッセージ事業」を行っています。

①こどもへの健康教育

県健康福祉センターの職員等が小学校において寸劇や紙芝居等を用いて受動喫煙防止教育を行います。

- ・対象：小学3、4年生
- ・時間：45分程度

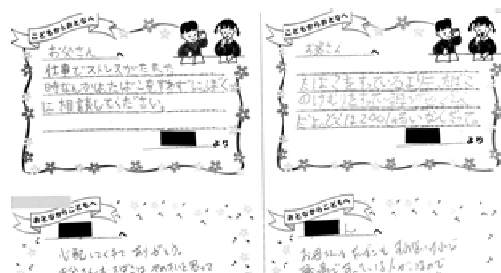
たばこの健康への害や受動喫煙防止の必要性を伝えます。



②こどもから大人へのメッセージ

①の健康教育実施後に子どもが受動喫煙防止に対する考え方について、メッセージカードを作成し、保護者や教師等の大人に贈ります。

こどもからのメッセージを受けた大人は、子どもに対しメッセージ（受動喫煙防止宣言等）を記入し、こどもを通じて学校に提出します。



こども ← 大人
お父さんへ
仕事でストレスがたまった時なんかは、
たばこをすわずにぼくに相談してください。

お母さんへ
たばこをすっているよりも、たばこのけむりを
すっているほうがどくなんだよ。
どくは200しゆるいなんだって。

大人 ← こども
心配してくれてありがとう。
お父さんも健康のためにたばこをやめたいと
思っていたから、これで終わりにするね。
ずっと元気な体で楽しく過ごしたいと思うよ。

お母さんはたばこをすわないけれど
職場ですっている人がいるので職場が禁煙に
なればいいのと思うよ。〇〇がおなかに
いるときにはたばこをすう人のそばには
行かないようにしたよ。

③大人による受動喫煙防止宣言

こどもからメッセージを受けた大人が、学年部会やPTA総会等で受動喫煙防止宣言をします。

献血併行型骨髄バンクドナー登録会の実施

(賀茂健康福祉センター)

(要旨)

10月には「造血幹細胞移植普及推進月間」(旧骨髄バンク推進月間)であり、全国で造血幹細胞移植対策の推進のために、啓発活動などの取組を実施します。

当所では、下田総合庁舎内での献血実施日に併せて、ドナー登録者の増加を図るため、ドナー登録会を行います。

(概要)

日 時	令和8年10月8日(木) 13:30~15:30 (献血は16:00まで)
会 場	静岡県下田総合庁舎(下田市中531-1) 駐車場及び1階エントランス
ドナー 登録対象者	・骨髄・末梢血幹細胞の提供の内容を十分に理解している方 ・年齢が18歳以上、54歳以下で健康状態が良好な方 ・体重が男性45kg以上/女性40kg以上の方 ※献血の要件とは異なりますので、健康状態等で登録いただけない場合があります。
従事者	・日本骨髄バンク説明員 ・賀茂健康福祉センター職員

<造血幹細胞移植>

- ・白血病や再生不良性貧血等の血液疾患に対して、造血幹細胞移植が治療適応になる場合があります。
- ・造血幹細胞移植を待つ患者さんは毎年、国内で約2,000人おり、その中で実際に移植を受けることができる患者さんは半数ほどです。
- ・造血幹細胞移植をするには、移植を希望する方とドナーの白血球の型(HLA)が適合している必要があります。HLA型が一致する確率は兄弟姉妹で4分の1、血のつながりがない方では数万分の1であることから、一致する確率を上げるために、多くのドナー登録をお願いしています。

(その他)

- ・献血実施及び骨髄バンクドナー登録会の幅広い周知に御協力ください。
- ・当日、取材いただける場合は前日までに担当に御連絡ください。

担 当:地域医療課(骨髄バンク)内 田
衛生薬務課(献 血)大 石
連絡先:0558-24-2051

令和8年9月25日

定例記者懇談会資料

賀茂地域青年農業士連絡会出前講座

(賀茂農林事務所)

1 目 的

賀茂地域の青年農業士が組織する賀茂地域青年農業士連絡会では、将来の担い手と期待される高校生に農業への関心を高めてもらうため、令和2年度から県立下田高校南伊豆分校園芸科1年生を対象に出前講座を行っています。

今年度は下記のとおり開催します。

2 概 要

日 時	令和8年10月14日(水) 13:35~15:25
実施場所	静岡県立下田高等学校 南伊豆分校2階 1年生教室
内 容	「伊豆の農業者と語りあう」 (1) 青年農業士の自己紹介 (2) わさび食べくらべ実体験 (3) グループトーク「将来の賀茂地域の農業について」
参加者	・県立下田高等学校南伊豆分校 園芸科1年生 30名 ・賀茂地域青年農業士連絡会員 5名
その他	・取材を希望される場合は、前日までに下記担当まで御連絡ください。 ※青年農業士とは、40歳以下の生産者で、農業経営の改善に取り組み、自己啓発や新技術の導入、農村青少年の自主的な組織活動への参加を積極的に行い、地域の中心的役割を果たしている者又は中心的役割が期待される方です。

担 当：企画経営課 夏賀
連絡先：0558-24-2076

定例記者懇談会資料

河津小学校わさび授業の開催

(賀茂農林事務所)

1 目 的

地元の特産農産物で、「静岡の水わさびの伝統栽培」として世界農業遺産に認定されたわさびについての理解を児童に深めてもらい、地域への愛情を高めてもらうことを目的に、JA ふじ伊豆〇(マル)東わさび共販委員会青年部を講師としてわさびの授業を開催し、わさびに触れ合う機会を提供する。

2 概 要

第1回 ・ わさびの 授業	(1) 開催日時 令和8年9月28日(月) 13:25~14:10 (2) 会 場 河津小学校(静岡県賀茂郡河津町笹原 328-1) (3) 内 容 わさびの特徴、栽培などについて教室で授業を行い、わさび田を見学する前に、わさびについて知ってもらう。
第2回 ・ わさび田 見学	(1) 開催日時 令和8年10月13日(火) 9:30~10:40 小雨決行(予備日10月20日(火)) (2) 会 場 河津町梨本泉奥原 わさび田 (別添図のとおり/北緯 34.786993、東経 138.949134) (3) 内 容 わさび生産者が児童をわさび田に案内し、児童からの質問に答える。
対象者	河津小学校3年生(23人)
講 師	〇東わさび共販委員会 青年部
主 催	静岡県賀茂農林事務所
その他	取材を希望される場合は、事前に担当あて御連絡ください。 ・9月28日(月)分: 当日の10:00まで ・10月13日(火)分: 10月9日(金)17:00まで

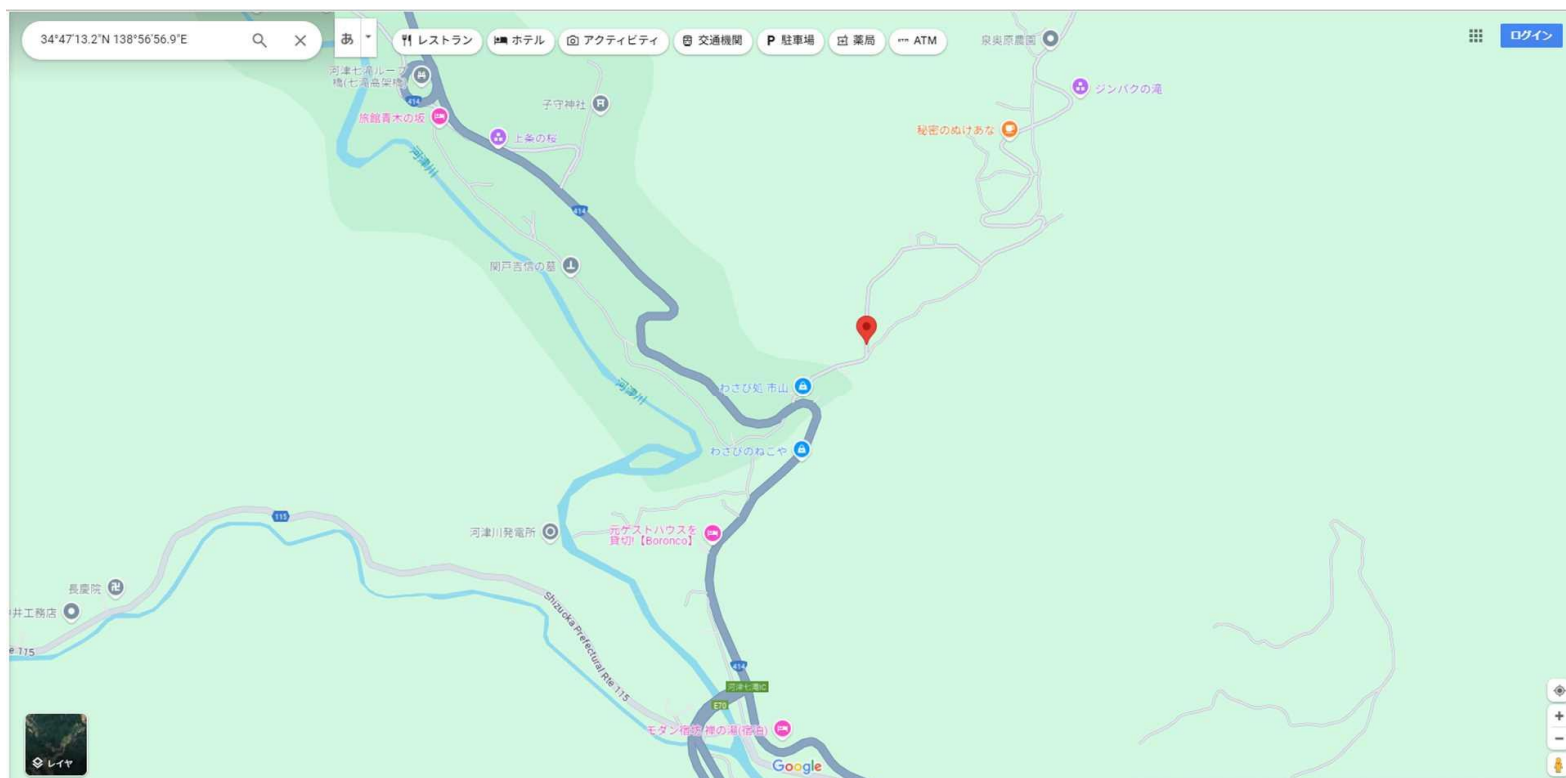
担 当: 地域振興課 浅野
連絡先: 0558-24-2079

泉奥原わさび田地図



34.786993, 138.949134

国道414号線を天城（伊豆市）方面に進み、わさび処市山を右に曲がる道沿いにのぼると、左側にビニールハウスがある



北緯、東経
34.786993, 138.949134

くくりわな技術向上講習会の開催について

(賀茂農林事務所)

1 要 旨

獣害による農林業被害を減らすためには、狩猟者の育成・確保が重要です。

賀茂農林事務では、わな狩猟免許を習得した初心者等を対象に、くくりわなによる安全で効率的な捕獲技術を学ぶ講習会を開催します。

2 概 要

目 的	くくりわなを使用した安全で効率的な捕獲技術を、実習を交え習得する
日 時	令和8年10月21日(水) 9:30~16:00
会 場	講義：河津町役場 2階第2会議室 実習：風土の森(河津バガテル公園隣)
対 象	わな狩猟免許を習得した初心者(取得予定者含む)など 定員20名 (事前申し込み、参加費無料)
内 容	講師：NPO法人ホールアース自然学校 理事 富士山麓ジビエ所長 浅子 智昭 氏 (1)講 義：わな猟に関する基本的な知識・猟具の取扱いなど (2)実 習：くくりわな設置場所や設置方法などの捕獲技術
主 催	静岡県賀茂農林事務所、公益社団法人静岡県山林協会賀茂支部
過去の講習会の様子	 講 義  実 習
その他	取材を希望される場合は、前日までに下記担当まで御連絡ください。

担 当：森林整備課 大橋
連絡先：0558-24-2082

くくりわな技術向上講習会について

1 日 時

令和8年10月21日（水）9：30～16：00

※9：00 から受付を開始します。

2 会 場

① 河津町役場2階第2会議室

② 風土の森（河津町峰・河津バガテル公園の隣り）

※ 河津町役場から風土の森までは、各自で移動

3 日程（予定）

受付開始	9：00～	}	①河津町役場 2階第2会議室
講 義	9：30～12：00		
昼食休憩	12：00～13：00		
くくりわなの補修実習	13：00～13：45		
風土の森まで移動	13：45～14：00		
実 習	14：00～16：00		②風土の森



【集合場所】 河津バガテル公園駐車場

【実習場所】 風土の森（バガテル公園隣り）

出典 google map

賀茂農林事務所 森林整備課
電話 0558-24-2082

くくりわな技術向上講習会

賀茂地域では、ニホンジカなどによる農作物や森林の被害対策として、市町を窓口とした被害防止(有害)鳥獣捕獲等に取り組んでいます。

本講習会では、くくりわなを使用して、安全かつ効率的に捕獲できる技術を身に付けます。

狩猟免許を持っても実践したことがない方、捕獲効率を上げたい方等におすすめです。ご参加をお待ちしています。

日 時 令和8年10月21日(水)

9:30~16:00

会 場 河津町役場及び河津バガテル公園風土の森(河津町峰)

対 象 わな免許をお持ちの方(今後、わな免許取得予定の方も含む)

参加費 無料(要事前申込)

定 員 20名(定員になり次第締切)

講習会内容

📖 講義(9:30~12:00)

- ・里山でのわなによる捕獲について
- ・ニホンジカの生態について 等

📖 実技(13:00~16:00)

- ・わなづくり講習
- ・フィールド実習 等

申込み・問合せ 静岡県賀茂農林事務所森林整備課

電話 0558-24-2082 FAX 0558-24-2163

メール kamonou-sinrin@pref.shizuoka.lg.jp

申込方法

FAX又は郵送の方：裏面の参加申込書によりお申込みください。

メールの方：お名前、ご住所、電話、狩猟免許及び捕獲経験の有無を明記してお申込みください。

※電話で受け付けは行っておりません。窓口、郵送及びFAX、メールでの申込みにご協力をお願いします。

申込期限

令和8年10月2日(金) ※定員になり次第締切

主催：公益社団法人静岡県山林協会賀茂支部、静岡県賀茂農林事務所

講師：NPO 法人ホールアース自然学校



静岡県賀茂農林事務所森林整備課 あて
 〒415-0016 下田市中 531-1
 ファックス番号 0558-24-2163

10月21日 くくりわな技術向上講習会 参加申込書

お名前	ご住所	電話番号	狩猟免許の有無	鳥獣捕獲経験の有無

※上記の個人データは、この講習会以外で使用することはありません